

「世界津波の日」高校生サミットin 黒潮について

(平成28年11月25日、26日開催)

内閣官房 国土強靱化推進室



「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮

- 日 時：平成28年11月25日（金）、26日（土）
- 主 催：高知県、高知県教育委員会、黒潮町、黒潮町教育委員会
- 共 催：国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所
- 後 援：国土強靱化推進本部、内閣府(防災担当)、外務省、文部科学省、経済協力開発機構(OECD)

本部としての後援規程を制定後、初の案件

- 場 所：高知県黒潮町 土佐西南大規模公園 体育館他
- 趣 旨：防災の知見と地震津波の脅威を伝え、必要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで、地震津波から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる、国土強靱化を担う将来のリーダーを育成する。
2015年12月、国連総会で採択された「世界津波の日（11月5日）」の啓発の一環
- テーマ：「自然災害から生き抜くために、次世代を担う私たちができること
～自助、共助、公助の視点から～」
- 参加者：海外招へい者 284名（うち高校生246名）
国内参加校 204名（うち高校生115名）



主なプログラム

11月25日	【開会式】
16:20 ~ 18:15	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加校紹介 ● 開会宣言(高校生議長) ● OECD東北スクール発表 ● 分科会のためのブリーフィング
11月26日	【分科会・フィールドワーク】
8:20 ~ 17:20	<ul style="list-style-type: none"> ● 分科会(3テーマ) ● 津波避難タワー、安政津波の碑見学 ● 高台避難訓練(体験) など
	【記念植樹】
	<ul style="list-style-type: none"> ● 記念植樹、全体記念撮影
	【総会】
	<ul style="list-style-type: none"> ● 安倍内閣総理大臣ビデオメッセージ ● 主催者、来賓挨拶(松本国务大臣、二階幹事長) ● 東日本大震災被災地からの報告 ● 分科会報告 ● 「黒潮宣言」採択 ● 閉会宣言(高校生議長)
	【フェアウェルパーティー】

「世界津波の日」高校生サミットの様子(その1)

1
日
目

高校生たちの到着



写真提供: 高知県

黒潮町民による熱烈な歓迎

開会宣言(高校生議長)



高知県立大方高校1年
今村琳花さん(左)、今井恋さん(右)

OECD東北スクール発表



写真提供: 高知県

OECD東北スクール参加者
釣巻洋子さん

分科会のためのブリーフィング



写真提供: 高知県

国境を越え、すぐに打ち解ける
高校生

2
日
目

分科会、フィールドワーク



写真提供: 高知県

分科会(3テーマ)



写真提供: 高知県

安政津波の碑 見学



写真提供: 高知県

高台避難訓練

記念植樹

各国代表
による
記念植樹



写真提供: 高知県

来賓も参加
しての
記念撮影



「世界津波の日」高校生サミットの様子(その2)

2
日
目

総会オープニング



写真提供: 高知県

安倍内閣総理大臣
ビデオメッセージ



写真提供: 高知県

主催者挨拶
尾崎高知県知事



写真提供: 高知県

来賓挨拶
松本内閣府副大臣



写真提供: 高知県

来賓挨拶
二階幹事長

高校生サミット総会



写真提供: 内閣府

東日本大震災
被災地からの報告
石巻高校 雁部 那由多さん
津田 穂乃果さん
石巻西高校 相澤 朱音さん



写真提供: 高知県

分科会報告



写真提供: 高知県

「黒潮宣言」の採択

フェアウェルパーティー



写真提供: 高知県

よさこい鳴子を手に、
踊りを通じて懇親を深める
高校生たち

黒潮宣言 (日本語全文)

国連総会において「世界津波の日」が制定されたことを記念し、私たちは、世界30ヶ国から、2016年11月25・26両日、南海トラフ地震による甚大な津波被害が想定される高知県黒潮町に集まりました。

世界各地で自然災害が大きな被害を及ぼし、多くの人々が復興に立ち向かっています。

私たちの住む国や地域は多様であり、発生する自然災害や、防災に対する取組も様々ですが、すべての人々の命を守りたいという願いは同じです。

今日、世界の友と、災害から人々の命を守るために、そして被災地の復興のために、私たちは何をすべきか、また、どのような取組ができるのかを学び合いました。

このサミットを通じて、世界での津波リスクと津波による甚大な影響を認識し、先人たちの防災・減災の志を後世に伝える責務を引き継ぎ、津波災害をはじめとする災害から一人でも多くの尊い命を守るため、できる限りの努力をする決意をここに宣言します。

1 私たちは学びます。

自然災害への理解を深めるため、それらの仕組みや被害、過去の歴史を正しく学びます。

人々の命を守るため、防災に役立つ知識や技術・取組を学び、研究します。

被災した方々から、私たちはどのように災害に立ち向かい、どのように生きるべきなのかを学びます。

テクノロジーを駆使して学びます。

2 私たちは行動します。

自然災害の記憶の風化を防ぎ、防災意識向上のための啓発活動を絶やさず行います。

助けられる人から助ける人となる自覚を持ち、人々の心に寄り添うボランティア活動を積極的に行います。

防災への取組を地域社会と行政に提案するなど、地域社会の一員として地域づくりに参画します。

3 私たちは創ります。

学び得た知識や技術、若者らしい斬新な発想をもって、あらゆる人の防災に役立つ物や仕組みを創造します。

世界の友と生きるため、地域や国を越え、共に学び、協力しあう高校生間のネットワークを創出します。次代を担う防災リーダーとして知恵と行動力を発揮し、私たちと未来の子ども達のために、地域の活性化はもとより、災害に強い街や国づくりに貢献します。

そして、自然の恵みを享受し、時に災害をもたらす自然の二面性を理解しながら、その脅威に臆することなく、自然を愛し、自然と共に生きていきます。